

FD

第6回 フォーラム

三者協働型 アクティブ・ラーニングの展開 最終成果報告会



日 時：2012年1月28日（土）
13：00～17：30

場 所：関西大学 千里山キャンパス
第1学舎5号館4階 E403教室

↓第1学舎5号館



プログラム

13：00～13：10 開会挨拶 市原 靖久（副学長・法学部教授）

13：10～13：55 第1部 『三者協働型アクティブ・ラーニングの展開—その成果—』

14：10～15：40 第2部 『識者・先駆者に聴く』

橋本 勝 氏 （富山大学）

山田 礼子氏 （同志社大学）

溝上 慎一氏 （京都大学）

15：55～17：25 第3部 『識者・先駆者に訊く』

本GPの総括と展望について

パネルディスカッション「アクティブ・ラーニング入門一歩前」

17：25～17：30 閉会挨拶 田中 俊也（教育開発支援センター長・文学部教授）

講師紹介

橋本 勝氏

現在、富山大学大学教育支援センター教授。「橋本メソッド」による多人数授業の実践や岡山大学における「学生・教職員教育改善専門委員会（愛称SweetFood）」の教員代表として運営に深く関わる等、学生参画型教育改善に関する実績多数。主な著書に『学生と変える大学教育』（ナカニシヤ出版）等。

山田 礼子氏

現在、同志社大学社会学部教授。アメリカの高等教育、継続高等教育に関する研究等に取り組まれている。また、文部科学省大学分科会質保証システム部会専門委員、初年次教育学会会長など高等教育改革の要職を兼任されている。主な著書に『プロフェッショナルスクール』（玉川大学出版部）、『大学教育を科学する—学生の教育評価の国際比較』（東信堂）等。

溝上 慎一氏

現在、京都大学高等教育研究開発推進センター准教授。専門は青年心理学、高等教育。大学生の学びと成長に関する研究を重ねている。主な著書に『大学生の学び・入門—大学での勉強は役に立つ！—』（有斐閣）『現代青年期の心理学—適応から自己形成の時代へ—』（有斐閣）等。

お申し込み：教育開発支援センターHP (<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/>)

※HP内「お知らせ」→「専用フォーム」から1月26日までにお申し込みください。
（当日受付もしますが、資料の準備の都合上、事前のお申し込みをお願いいたします）

お問い合わせ：事務局（授業支援グループ）竹中・川瀬（06-6368-1513）